

報道関係者各位
プレスリリース

2013年11月25日
キネマ通り商店会
特定非営利活動法人ワップフィルム

キネマ通りで「未来の映画館」映画フェスタ 3夜連続

空き銭湯・空き工場とコラボして大田区・蒲田を盛り上げる

東京都東蒲田、キネマ通り商店会（所在地：東京都大田区 会長：柳町 忠）は、大田区産業経済部の後援を得て、特定非営利活動法人ワップフィルム（所在地：東京都大田区 理事長 高橋和勸）と協働し、12月7日（土）、「映画の街キネマの復興」をテーマに地域×産業×観光の一環とし「キネマフェスタ 2013」（通称：キネフェス）を開催する。当日を含め3夜連続で、近隣の町工場や銭湯でも上映会を開催し、かつての「映画の街」の活気を取り戻す挑戦をステークホルダーへ呼びかけた。



商店街上映会@キネマフューチャーセンター



町工場上映会場 東蒲精機製作所 高橋和勸監督

シャッター商店街に新たな人の流れを呼び戻そうと、地元の若者を交えて今年初めて企画された。大田区東蒲田にあるキネマ通りは名前の通り、最盛期の昭和30年代までは映画館で多くの観客で賑わったが、現在では半数以上が空き店舗となり、今や道路化、商店街の機能すらない。

今年夏に空き家空き店舗を地域住民の交流拠点としてリノベーションされた「キネマフューチャーセンター」（当日事務局）では、地域の子供たちが書いた映画に関する絵を展示する。展示期間は、12/2（月）から12/7（土）まで。まさに、シャッター通り界隈の空き店舗、空き銭湯、空き町工場と連携し地域資源を活用した新たな挑戦だ。

イベント当日は、地域の未来を担うこども達と「スマホ」を片手に街をめぐり、町のお宝を探す。また、近隣の銭湯や町工場を「未来の映画館」とし3日間連続の上映会を展開する。町工場で有名な大田区は、現在でも都内で最も銭湯が多い。地域特性を踏まえ、銭湯や町工場の操業していない定休日を活用して映画をリレー上映をする異例の取組だ。今後、このような動きを波及させたい。

■ イベント日程一覧は添付チラシ裏面を参照

事務局(問合せ): 特定非営利活動法人ワップフィルム/担当: 菊地 TEL: 03-3573-5692